

2018年2月2日  
FCA ジャパン株式会社

## FCA ジャパン、2017 通年で過去最高の販売台数を達成

- ジープとアバルトがそれぞれ過去最高の販売台数を記録
- フィアット／アバルトの合計販売台数が過去最高を達成
- ジープ販売店は本年よりSUV専売チャネルとして始動



Jeep



FCA ジャパン株式会社（本社：東京都港区、社長：ポンタス・ヘグストロム）は、取り扱いブランドであるアルファロメオ、クライスラー、フィアット、ジープ、アバルトの2017 通年の合計販売台数が過去最高を達成したことを発表します。

FCA ジャパンの2017 暦年の合計販売台数は21,938 台に達し、年間最多の登録台数を記録しました。前年比では外国メーカー車市場全体の前年比（3.7%増）約2 倍の7.3%増加となり、過去8 年間で7 回目のプラス成長となります。好調の背景には、アルファロメオ、フィアット、ジープ、アバルトの各ブランドでそれぞれ商品の充実を図ったことと、ブランドの訴求力を高めるディーラーの再編が販売を後押ししたことが挙げられます。

ジープは2017 年に前年実績を7.6%上回り、年間販売台数が初めて10,000 台を突破しました。ジープのアイコン「ラングラー」、スモールSUV の「レネゲード」、フラッグシップモデルの「グランドチェロキー」の3モデルが過去最高を達成するなど順調に推移。2017 年12月に発売した新型「コンパス」も好調なスタートを切ったことが販売増の要因に挙げられます。また、新しいコーポレート・アイデンティティ（CI）を含めた正規販売ネットワークの全面アップグレードもブランド強化に寄与しました。2016 年10月に第1号店が完成した新CI店舗の数は、2018 年2月2日時点で全73 拠点中32 店舗にまで増え、リニューアル計画は順調に進んでいます。

フィアット／アバルトも、好調な販売を維持しました。アバルトについては前年比43%の大幅増を達成し、正規販売チャネルとして過去最高の販売台数に達しました。2017 年2月にマイナーチェンジしたアバルトの中核モデル「595」シリーズと、2016 年10月に販売を開始した



FIAT CHRYSLER AUTOMOBILES

PRESS RELEASE

「124 スパイダー」の販売が好調なことに加え、2016年7月にフィアット／アバルトの正規販売チャンネルを統合したことによる顧客層の拡大が好調の要因として挙げられます。

アルファロメオも前年実績を上回りました。2017年はフラッグシップモデルの新型車「ジュリア」を投入し、同時に販売チャンネルの専売化を加速させるなど多くの話題を集めました。ジュリア取り扱いアルファロメオ正規販売店の数は2018年2月2日時点で47拠点となっています。

2018年からジープ正規販売店は日本初のSUV専売チャンネルとして全国に展開し、新CIを取り入れたジープ販売店のリニューアルを継続しながら、さらなる販売増を目指します。

以上



Jeep

